

本会の活動から

令和4年度東京都先天性代謝異常等 検査連絡協議会に参加

先天性代謝異常等検査を円滑に実施するため、実施主体である東京都と採血業務を担う病産院、検査業務を担う本会、東京都医師会ら関連団体、そして治療に当たる専門医らが集い、さまざまな問題点や課題を検討する連絡協議会。

その令和4年度の協議会が1月30日に開催され、2021年度の検査実績やタンDEMマス法における副腎過形成症の2次検査実績などについて検討が行われた。本会からは検査研究センター長の久布白兼行、事業本部地域・学校担当本部長の阿部勝巳の他、職員10人が参加した。

令和4年度東京都産業保健健康診断 機関連絡協議会研修会に参加

令和4年度東京都産業保健健康診断機関連絡協議会研修会が2月16日、東京都文京区で開催され、検査研究センター長の久布白兼行が特別講演「これからの子宮頸がん検診について」と題して講演した他、職員2人が参加した。

令和4年度予防医学事業中央会 全国業務研修会に参加

令和4年度全国業務研修会(主催 予防医学事業中央会、高知県総合保健協会)が2月16～17日、高知県高知市で開催された。本会からは事業本部職域担当本部長の大畠利彦、職域保健事業部長の廣瀬篤史の他、職員4人が参加した。

第56回全国予防医学技術研究会に参加

第56回全国予防医学技術研究会(主催 予防医学事業中央会、石川県予防医学協会)が3月3日、石川県金沢市で開催された。

研究会では「新たなる予防医学技術の向上を

めざして」というテーマの下、各種がん検診や学校検診、健診・検査技術、保健指導などに関する発表が行われ、本会からは事務局長の小川登と検診検査部長の神宮宇広明の他、職員5人が参加した。

予防医学事業中央会 令和4年度保健指導研修会に参加

令和4年度保健指導研修会(主催 予防医学事業中央会)が3月10日、「第4期特定健診・特定保健指導の理解を深める」をテーマに東京都新宿区で開催され、全国の都府県支部から101人が参加。本会からは進行役を務めた健康増進部次長の加藤京子の他、職員1人が参加した。

学術集会への参加等

- 第30回日本CT検診学会学術集会が2月17～18日、「Challenge and Evolution——乗り越えて、未来へ」をテーマに熊本県熊本市で開催され、放射線部の職員1人が参加した。
- 令和4年度東京都細胞診従事者講習会が3月4日に本会で開催され、検査研究センター長の久布白兼行が「これからの子宮がん検診を考える」と題して講演した他、職員1人が参加した。
- 日本マスキング学会 技術部会 第41回研修会が3月11日に開催され、母子保健検査部小児スクリーニング科の長谷川智美と渡辺和宏が講師を務めた他、職員6人が参加した。

本会の理事会を開催

3月23日、本会の令和4年度第2回理事会を開催した。理事会では、理事長の久布白兼行を議長に、令和5年度の事業計画・収支予算資金調達及び設備投資等の見込みなどの議案が決議され、いずれも満場一致で承認された。